

施工上の注意

和紙・紙

■和紙壁紙は自然素材を漉いて作られています。素材にばらつきがあり、それゆえに味わいを持った壁紙になっています。素材の特性上ジョイント部に色差や風合い差が生じることがあります。水が直接かかる場所への使用は避けてください。

糊付け

- ・糊は濃いめに、塗布量は多めにして相割ぎを防いでください。
- ・表面に糊が付着しないようご注意ください。
- ・糊付け後は折りジワが付かないよう大ききため、重ね置きはしないでください。
- ・オープンタイムは10分が目安です。長時間おくと相割ぎや目スキの原因となります。

張付け

- ・糊で付けは柔らかい刷毛を使用してください。金ペラや硬いローラーは使用しないでください。
- ・鋭い薄刃のカッターを使用してください。
- ・カッターの刃は15〜20°の角度を保ってカットすると、繊維が毛羽立たず比較的きれいに仕上がります。
- ・石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。
- ・フリージョイントの和紙壁紙は、目スキが気になる場合3mm程度の重ね張りをおすすめします。
- ・施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。

施工終了後

- ・表面に糊が付着した場合は、固く絞ったスポンジで軽く拭き取ってください。
- ・粘着テープの使用は避けてください。
- ・張り替え等で剥がす際は、表面にたっぷりと水打ちをして、裏紙にまで湿り気を与える、または剥がし剤を使用すると比較的剥がしやすくなります。

標準施工のみ

67頁 SW4071・4072/4074	69頁 SW4081~4084	71頁 SW4095
73頁 SW4124/4125/4126~4129/4130・4131		



施工動画
基本施工方法
はこちらから

以降は上記標準施工注意に加えて必要な個別の施工注意です。

61頁 SW4048・4049

- ・強い摩擦や湿気を含むもので擦ると、色落ちの原因となりますので十分にご注意ください。
- ・表面をローラーで強く擦ると光沢感にムラが生じることがあります。ローラーを使用される場合はあて布をして軽く掛けてください。

62頁 SW4050~4052

- ・手染めのため、1枚1枚パターンが異なりますので、完璧な柄合せは出来ません。均一でない味わいがあります。

63頁 SW4053/4054・4055

- ・手染めのため、1枚1枚パターンが異なりますので、完璧な柄合せは出来ません。均一でない味わいがあります。

64頁 SW4056・4057

- ・強い摩擦や湿気を含むもので擦ると、色落ちの原因となりますので十分にご注意ください。
- ・表面をローラーで強く擦ると光沢感にムラが生じることがあります。ローラーを使用される場合はあて布をして軽く掛けてください。

65頁 SW4060/4061・4062

- ・強い摩擦や湿気を含むもので擦ると、色落ちの原因となりますので十分にご注意ください。

66頁 SW4063・4064

- ・強い摩擦や湿気を含むもので擦ると、色落ちの原因となりますので十分にご注意ください。

67頁 SW4073

- ・強い摩擦や湿気を含むものの長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。

68頁 SW4077・4078/4079・4080

- ・強い摩擦や湿気を含むもので擦ると、色落ちの原因となりますので十分にご注意ください。

69頁 SW4085~4088

- ・手加工の風合いを再現したプリントパターンのため、ジョイント部の柄は合いません。ご了承ください。

70頁 SW4089~4091/4092

- ・商品の特性上、柄合せはできません。見え方にばらつきがあり均一でない味わいがあります。
- ・商品の特性上、柄合せはできません。見え方にばらつきがあり均一でない味わいがあります。

71頁 SW4096・4097

- ・強い摩擦や湿気を含むものの長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。
- ・格の染め色や大きさにばらつきがあり、ジョイント部で目立つ場合があります。
- ・格の染め色や大きさにばらつきがあり、ジョイント部で目立つ場合があります。
- ・強い摩擦や湿気を含むものの長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。

施工上の注意

和紙・紙

72頁

- SW4102~4108
 - ・施工時または施工後に漉込んである素材が落ちやすいので、お取り扱いにご注意ください。
- SW4109
 - ・施工時または施工後に漉込んである素材が落ちやすいので、お取り扱いにご注意ください。
 - ・強い摩擦や湿気を含むものの長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。
- SW4110~4114
 - ・施工時または施工後に漉込んである素材が落ちやすいので、お取り扱いにご注意ください。
- SW4115~4123
 - ・施工時または施工後に漉込んである素材が落ちやすいので、お取り扱いにご注意ください。
 - ・強い摩擦や湿気を含むものの長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。

73頁

- SW4132・4133
 - ・強い摩擦や湿気を含むものの長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。
- SW4134・4135
 - ・施工時または施工後に漉込んである素材が落ちやすいので、お取り扱いにご注意ください。
 - ・強い摩擦や湿気を含むものの長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。

不織布

■素材の特性上、施工中表面にホコリなど付着すると取り除けない場合があります。

糊付け

- ・糊は濃いめのものを使用してください。
- ・表面に糊が付着しないようご注意ください。
- ・糊の乾燥が遅いため、付け溜めは出来ません。長時間おくと相割ぎや目スキの原因となります。
- ・糊付け後は折りジワが付かないよう大ききため、重ね置きはしないでください。

張付け

- ・鋭い薄刃のカッターをご使用ください。
- ・糊で付けは柔らかい刷毛を使用してください。金ペラや硬いローラーの使用は避けてください。
- ・施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。

施工終了後

- ・表面が汚れた場合は、固く絞ったスポンジで軽くたくように素早く拭き取ってください。
- ・粘着テープの使用は避けてください。

66頁 SW4065・4066/4067・4068/4069・4070	68頁 SW4075/4076
---------------------------------------	-------------------

コットンソフィーナ

糊付け

- ・濃いめの糊(エチレン酢ビ系接着剤入り)で施工してください。
- ・表面に糊が付着しないようご注意ください。
- ・糊付け後は折りジワが付かないよう大ききため、重ね置きはしないでください。
- ・オープンタイムは15〜30分が目安です。

張付け

- ・鋭い薄刃のカッターを使用してください。
- ・石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。
- ・施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。

施工終了後

- ・表面に糊が付着した場合はすぐきれいな布で軽く拭き取ってください。

74頁 SW4136/4137/4138	75頁 SW4139・4140/4141・4142/4143・4144
76頁 SW4145~4147/4148~4150/4151~4153/4154~4156/4157・4158	

ロクタ手漉き紙

■自然素材100%を使用し1枚1枚手作りしているため、色や厚み、表情にばらつきがあります。強い摩擦や湿気を含むものの長時間の接触は、色落ちまたは色移りの原因となりますので十分にご注意ください。水が直接かかる場所への使用は避けてください。現場寸法を確認して全体の割付け計画を立て、商品の風合い色合いのバランスを調整した上で施工してください。

下地処理

- ・下地は平滑にし、変色を避けるためシーラー処理は必ず行ってください。

糊付け

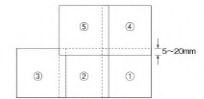
- ・糊は濃いめに、塗布量は多めにしてください。
- ・1枚ずつ全面に糊付けしてください。糊の乾燥が遅いため、付け溜めは出来ません。
- ・表面に糊が付着した場合は、拭き取れません。

張付け

- ・水平垂直を求め、基準線を墨打ちしておきます。
- ・防火仕上とする場合、張付けは直張りしてください。袋張り是非防火となります。
- ・下から上へと張っていきます。下段を張り終えてから2段目を張ります。
- ・約20mmの重ね張りを基本に、最低でも5mmは重ねて張ってください。
- ・重ねて張ることで強度がアップします。
- ・天地左右の重ねしるの多少で調整して全体を納めてください。
- ・ローラーやヘラの使用は避け、刷毛でエアを追い出すように丁寧に撫で付けてください。

施工終了後

- ・粘着テープの使用は避けてください。



下から上へと張っていく
下段を張り終えてから2段目を張る



施工動画
基本施工方法
はこちらから